

中央区の“ちょっとすごい!”を見て歩き

# 中央区まちかど展示館



まちかどに  
新しい発見がある！

全22館の魅力を  
まとめてご紹介



Facebook公式ページ  
f 中央区まちかど展示館

ホームページURL  
<http://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>

## 季刊誌『中央区まちかど展示館』Information

区内に店舗をお持ちの皆様、  
企業の皆様へ

### 季刊誌に広告を掲載 してみませんか？

季刊誌『中央区まちかど展示館』では、  
広告掲載を募集しています。区立施設や  
まちかど展示館等で配布します。広告掲載  
希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

### ■広告掲載に関するお問い合わせ

中央区まちかど展示館運営協議会  
(中央区文化・生涯学習課内)  
TEL.03-3546-5346

### 既刊Vol.01、Vol.02も 好評配布中！

配布については以下よりおこなっています。

#### ■ダウンロード版

中央区まちかど展示館ウェブサイト  
季刊誌ダウンロードページ  
<http://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/book.html>

#### ■印刷物版

中央区まちかど展示館運営協議会  
(中央区文化・生涯学習課内)  
中央区築地1-1-1 中央区役所6階  
TEL.03-3546-5346

※印刷物のVol.01、Vol.02は残りわずかとなっております。  
なくなり次第配布は終了させていただきます。

Vol.01 日本橋編



Vol.02  
銀座・京橋／月島編



◎発行日：2017年10月23日 ◎発行：中央区まちかど展示館運営協議会（中央区区民部文化・生涯学習課内）tel.03-3546-5346  
◎制作：株式会社アサバ Asaba & Co ◎デザイン：CAN DO CREATION ◎撮影：kt-design ◎文：秋元祐子

✂ キリトリ

POST CARD  
1 0 4 - 8 4 0 4

恐れ入りますが  
62円切手を  
貼って  
お出しください。

中央区役所6階（文化・生涯学習課内）  
中央区まちかど展示館運営協議会  
中央区まちかど展示館アンケート係

こちらのアンケートはがきは、  
ダウンロード版ではご利用いただけません。

差し支えない範囲でご記入ください。  
お答えいただいた個人情報、本紙アンケートのみに使用されるもので、その他に使用することはありません。

◎ご住所 〒

◎お名前

◎電話

◎職業

◎性別 男・女

◎年齢

# 写真で見える中央区の歴史

貴重な写真から、歴史のひとこまをのぞいてみよう！

明治・大正時代を中心に各地域の貴重な写真をご紹介します。  
現在とは全く違うまちの姿に、当時の空気を感じてみませんか？

築地が食のまちとなるのは、関東大震災後に日本橋魚河岸が移転してきてから。江戸時代は武家地であり、隅田川沿いの立地から廻船問屋や各種の問屋が栄えました。

【年代不詳／絵葉書】



現在の日本橋大伝馬町である大正時代の通旅籠(とおりはたご)町のまち並みです。伝馬町とは、江戸初期に荷物運送の伝馬役が置かれたことからついた地名。呉服問屋、木綿問屋、旅籠屋が軒を連ね、人馬の往来でにぎわいました。

【大正8年／『東京府史蹟』】\*

1905年(明治38年)、日露戦争に従軍した兵士の凱旋を祝して京橋に建てられた凱旋門です。この時代は凱旋門がブームを呼び日本橋にも建てられました。どちらも期間限定の式典用でした。

【明治38年／絵葉書】



日本橋蛸殻町にある水天宮は久留米より分霊された後、1872年(明治5年)に現在地へ。以来安産や水難等にご利益があると多くの人を訪れます。

【年代不詳／絵葉書】



1911年(明治44年)に竣工した今の日本橋。橋の上に首都高速道路が造られる前の姿です。多くの人が行き交う東京のメインストリートでした。

【大正時代／絵葉書】

佃は江戸中期に、隅田川河口にあった佃島と石川島の2つをつないで埋め立てられたもの。石川島には1853年に水戸藩によって石川島造船所が設けられ、現在のIHIへと発展したのです。

【明治40年／『東京写真帖』】\*

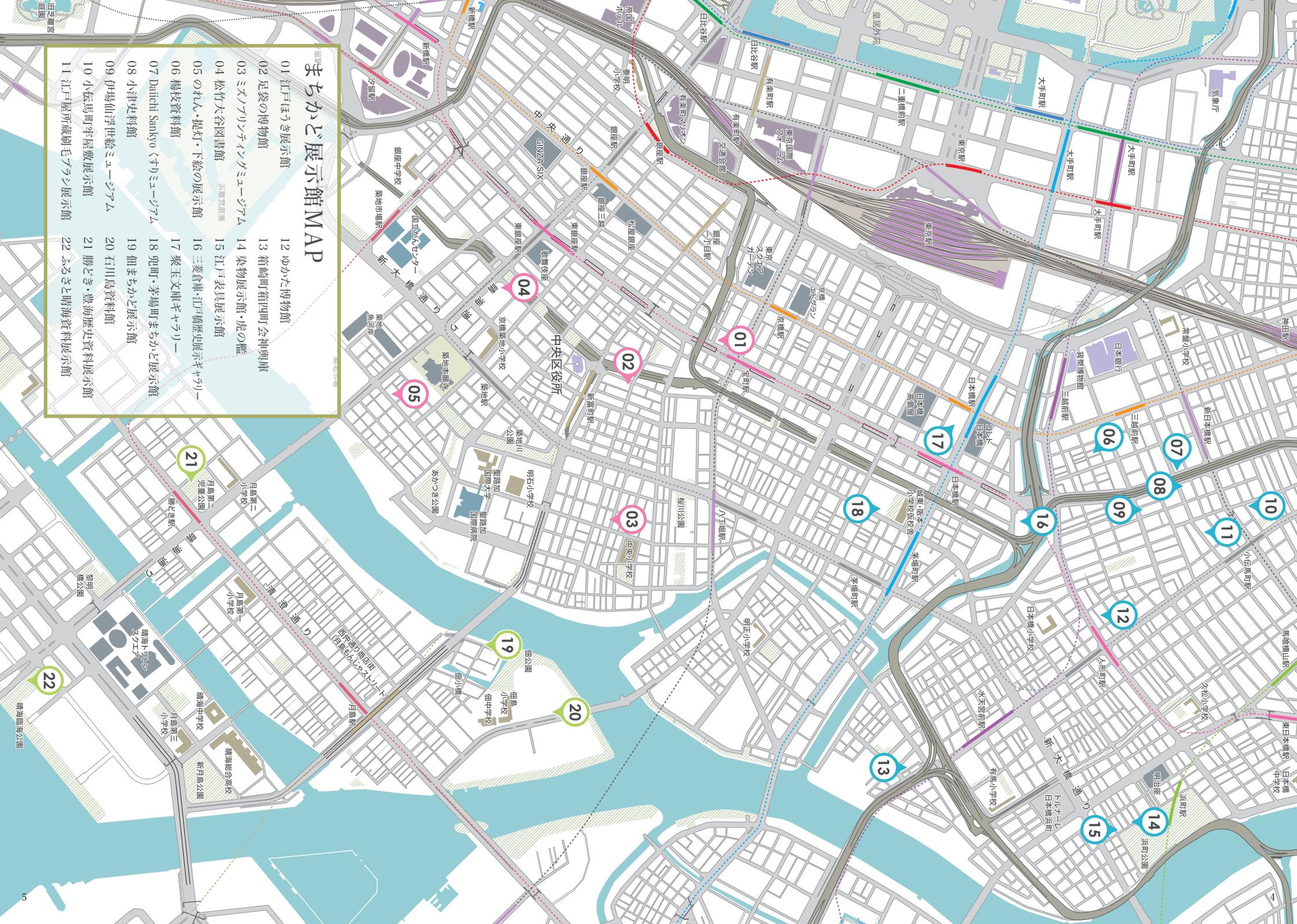


江戸時代から繁華街だった日本橋室町は、老舗の商店が軒を並べています。現代ではオフィス街の顔も見せる中、近年は都市再生が進み、新たなランドマークビルも誕生しています。【昭和10年／『季刊日本橋』】\*

画像出典.....  
タイムドーム明石(中央区立郷土天文館)  
\*印は中央区立図書館

# まちかど展示館MAP

- 01 江戸ぼうき展示館
- 02 足袋の博物館
- 03 ミスノソノテナインクミュージアム
- 04 松竹大谷図書館
- 05 のれん・提灯・下絵の展示館
- 06 楊枝資料館
- 07 Daichi Sankyo (すり)ミュージアム
- 08 小津史料館
- 09 伊場仙浮世絵ミュージアム
- 10 小伝馬町年居敷展示館
- 11 江戸屋所蔵刷毛フラス展示館
- 12 ゆかた博物館
- 13 箱崎町箱四町会神輿庫
- 14 染物展示館・虎の檻
- 15 江戸表具展示館
- 16 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー
- 17 聚玉文庫ギャラリー
- 18 兜町・茅場町まちかど展示館
- 19 佃まちかど展示館
- 20 石川島資料館
- 21 勝どき・豊洲歴史資料展示館
- 22 ふるさと晴波資料展示館



## 日本橋エリア

### 06 楊枝資料館 >> P11

東京都中央区日本橋室町1-12-5 / 03-5542-1905  
月～土曜日(祝日を除く) / 10:00～18:00

### 08 小津史料館 >> P12

東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル / 03-3662-1184  
月～土曜日(年末年始等を除く) / 10:00～18:00

### 10 小伝馬町牢屋敷展示館 >> P13

東京都中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア内 / 03-3546-5346  
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～18:00

### 12 ゆかた博物館 >> P14

東京都中央区日本橋人形町3-4-7 / 03-3661-8859  
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) / ①15:00～②16:00～(2部制・解説付)

### 14 染物展示館・虎の檻 >> P15

東京都中央区日本橋浜町2-45-6 / 03-3666-5562  
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～18:00(土曜日のみ17:00)

### 16 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー >> P16

東京都中央区日本橋1-19-1 / 03-3278-6611  
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 平日◎7:30～19:30 土曜◎7:30～13:30

### 18 兜町・茅場町まちかど展示館 >> P17

東京都中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内 / 090-2465-4001(10:00～19:00)  
通年 / 8:30～20:00

### 07 Daiichi Sankyo くすりミュージアム >> P12

東京都中央区日本橋本町3-5-1 / 03-6225-1133  
火～日曜日・祝日・振替休日(年末年始等を除く) / 10:00～18:00

### 09 伊場仙浮世絵ミュージアム >> P13

東京都中央区日本橋小舟町4-1 / 03-3664-9261  
年末年始を除く毎日 8:00～20:00(店舗は10:00～18:00) / 月～金曜日

### 11 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館 >> P14

東京都中央区日本橋大伝馬町2-16 / 03-3664-5671  
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～17:00

### 13 箱崎町箱四町会神輿庫 >> P15

東京都中央区日本橋箱崎町26-1 / 03-3667-5667(平日 11:00～16:00)  
通年 / 8:00～21:00

### 15 江戸表具展示館 >> P16

東京都中央区日本橋浜町2-48-7 / 03-3666-6494  
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～18:00

### 17 聚玉文庫ギャラリー >> P17

東京都中央区日本橋2-7-1 / 03-3272-3801  
通年(祝日・年末年始・盆休みを除く) / 10:00～18:30(土日は17:30まで)

## 月島エリア

### 19 佃まちかど展示館 >> P18

東京都中央区佃1-2-10先 / 03-3546-5346(中央区区民部文化・生涯学習課内9:00～17:00)  
通年 / 常時開館

### 21 勝どき・豊海歴史資料展示館 >> P19

東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内 / 03-3531-0092(11:00～16:00) 090-3529-3712(11:00～16:00)  
毎月 第2土・日曜日 / 10:00～16:00

### 20 石川島資料館 >> P18

東京都中央区佃1-11-8 ピアウエストスクエア1F / 03-5548-2571  
水・土曜日(年末年始等を除く) / 10:00～12:00、13:00～17:00(入館は16:30まで)

### 22 ふるさと晴海資料展示館 >> P19

東京都中央区晴海2-4 晴海臨海公園内 / 080-7723-3158(11:00～16:00)  
通年 / 常時開館

## まちかど展示館一覧

中央区の多彩な魅力が満載! 知的好奇心の宝庫が全22館。  
各エリアのまちかど展示館をすべてご紹介します。



## 銀座・京橋エリア

### 01 江戸ほうき展示館 >> P9

東京都中央区京橋3-9-8 / 03-3563-1771  
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 10:00～19:00

### 02 足袋の博物館 >> P9

東京都中央区新富2-2-1 / 03-3551-0896  
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～17:00

### 03 ミズノプリンティングミュージアム >> P10

東京都中央区入船2-9-2 / 03-3551-7595  
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)※要予約 / 10:00～16:00

### 04 松竹大谷図書館 >> P10

東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F / 03-5550-1694  
月～金曜日(祝日・年末年始・毎月最終木曜日等を除く) / 10:00～17:00

### 05 のれん・提灯・下絵の展示館 >> P11

東京都中央区築地6-5-5 / 03-3541-3741  
月～土曜日(祝日・年末年始・市場休業日等を除く) / 7:30～17:30



## 江戸ほうき展示館

管理者:株式会社白木屋中村伝兵衛商店 (平成23年度認定)

- 📍 東京都中央区京橋3-9-8
- ☎ 03-3563-1771
- 🌐 <http://www.edohouki.com/>
- 📅 月～土曜日(祝日・年末年始等を除く)
- 🕒 10:00～19:00
- 🚶 **📍** 宝町駅A3番出口 徒歩1分
- 🚶 **📍** 京橋駅2番出口 徒歩2分



# 01

### 現代生活に見直されるほうきの実力!

1830年創業、江戸後期からほうきを作り続けてきた「白木屋傳兵衛」が開設。心癒すほうき草の香りに満たされた店内に、3分の1サイズのミニチュアほうきが展示されています。ホウキモロコシを使った「江戸ほうき」は、江戸の長屋暮らしにぴったりの道具として広まりましたが、その名付け親がこのお店。現在も100%天然素材による手作り品を作り続けています。すぐに使え、静かに掃除できるエコなほうきは、現代の生活で見直され始めています。この機会に、家のお掃除にほうきを取り入れてみては?



## 足袋の博物館

管理者:有限会社大野屋總本店 (平成23年度認定)

- 📍 東京都中央区新富2-2-1
- ☎ 03-3551-0896
- 🌐 <http://www.oonoyasohonten.jp/>
- 📅 月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)
- 🕒 9:00～17:00
- 🚶 **📍** 新富町駅2番出口 徒歩1分



# 02

### 歌舞伎役者が愛用する美しい足袋を展示

安永年間(1772～1781年)に創業し、1849年にこの地に移転した足袋の老舗「大野屋總本店」内に設置された展示館。店舗は大正末期に建てられた風情ある木造建築で、国登録の有形文化財です。店内の展示ケースの中には、歌舞伎を中心に狂言や雅楽などで使用される足袋とその製作機具などが陳列されています。同店が考案した「新富型」の足袋は、足が細くきれいに見えると、長年にわたり歌舞伎役者たちが愛用する逸品。足袋以外にも可愛い柄足袋や袋物、ガーゼ手ぬぐい等も販売されているので、老舗の品をぜひお土産に。



## まちかど展示館とは…



### 江戸開府以来400年の歴史と伝統を誇る、中央区に伝わる多様な文化資源をご紹介します。

中央区は江戸時代より、わが国の文化・商工業・情報を中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。面積は小さいながらも、江戸五街道の起点である名橋「日本橋」、世界のショッピングストリート「銀座」、日本のウォール街「兜町」、食文化の中心「築地」、佃や月島をはじめとした豊かな水辺等さまざまな魅力に満ちあふれ、多くの人たちが集う活気にぎわいのまちとして、めざましい発展を遂げてきました。以来400年余り、中央区は歴史と伝統を育み、江戸

以来の老舗や地域のお祭りなど、多様な文化資源が脈々と息づいています。この中央区の魅力の皆様へ広く知っていただくため、地域の文化資源を「まちかど展示館」として整備し、開設しています。展示館は、小さな老舗内の伝統工芸品を飾ったショーケースから企業のものづくりや歴史を展示したもの、あるいは下町の祭りに使用する神輿など、規模や展示方法はそれぞれですが、中央区が誇る文化の一端をかいまみることができます。中央区の“ちょっとすごい”をぜひ、お訪ねください。

### 凡例

展示館名称	訪れる際には	[東京メトロ]
管理者(認定年度)	事前の予約が必要です	📍 有楽町線
住所	🛒 お買い物ができます	📍 銀座線
電話番号 (対応可能な時間帯)	🗳 クレジットカードでのお買い物ができます	📍 半蔵門線
ホームページアドレス	📖 展示物の詳細説明をご希望の際は各館にお問合せください	📍 日比谷線
開館日		[都営地下鉄]
開館時間		📍 大江戸線
最寄り駅		📍 浅草線
		📍 新宿線

※臨時休館する場合があります。詳しくは各展示館にお問合せください。



## のれん・提灯・下絵の展示館

管理者: 有限会社津多屋商店 (平成24年度認定)

- 📍 東京都中央区築地6-5-5
- ☎ 03-3541-3741
- 🌐 <http://www.noren-tsutaya.com/>
- 📅 月～土曜日(祝日・年末年始・市場休業日等を除く)
- 🕒 7:30～17:30
- 🚶 ① 築地駅1番出口 徒歩5分
- 🚶 ② 築地市場駅A1番出口 徒歩10分



### 手描きで伝える江戸文字の粋と活き

築地市場の開設と同時期にこの地で開業した、江戸のれん・千社額の店「津多屋商店」。店先のショーケースでは、昭和初期の提灯やのれんの見本帳、竹のコンパスやガラスペン等の道具を展示しています。店内には、江戸文字や角文字、牡丹文字といった伝統的な書体が描かれた製品がずらり!3代目の現当主・加藤木さんは、手描きの江戸文字でさまざまな商品を製作しているほか、「江戸文字を体験しよう」という教室も開催。「魚がし」シリーズなどの粋なポチ袋は築地のちょっとしたお土産に人気です。

# 05



## ミズノプリンティングミュージアム

管理者: ミズノプリテック株式会社 (平成23年度認定)

- 📍 東京都中央区入船2-9-2
- ☎ 03-3551-7595
- 🌐 [http://www.mizunopritech.co.jp/04\\_museum/top.html](http://www.mizunopritech.co.jp/04_museum/top.html)
- 📅 月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) ※見学は要予約
- 🕒 10:00～16:00
- 🚶 ① 新富町駅5番出口 徒歩5分
- 🚶 ② 八丁堀駅A2番出口 徒歩5分



### 国産初の印刷機ほか貴重な資料ぎっしり

1873年、平野富二が築地に長崎新塾出張活版製造所を興し、日本初の印刷機を製作したことで、中央区は日本印刷文化の中心地となりました。その国産第一号の活版印刷機を所有・展示しているのがこの展示館です。ほかにも国内外の古い印刷機や、現存する世界最古の印刷物である日本の「百萬塔陀羅尼經」など、古今の歴史的印刷物を豊富に陳列。印刷技術の変遷が学べる濃密なコレクションからは、人類が印刷術にかけた情熱が伝わってきます。(見学には事前予約が必要です)

# 03

## 楊枝資料館

管理者: 株式会社日本橋さるや (平成25年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋室町1-12-5
- ☎ 03-5542-1905
- 🌐 <http://www.nihonbashi-saruya.co.jp/>
- 📅 月～土曜日(祝日を除く)
- 🕒 10:00～18:00
- 🚶 ① 三越前駅A1番出口 徒歩5分



### たかが楊枝、されど楊枝!まさに江戸の粋

1704年から続く日本で唯一の楊枝専門店「さるや」。店内の資料コーナーには、横長の額に細工楊枝の数々が展示され、楊枝にも遊び心を求める江戸文化と、それに応えた熟練職人の繊細な仕事を見ることができます。同店では今も、爽やかな香りのくろもじの木を職人が手で削って楊枝を作り続けており、代表的な「上角楊枝」の他「しからば」「それは解せぬ」など、さむらい言葉と英訳の紙を巻いた楽しいシリーズも。ちょっとしたお土産にもぴったりな粋なお買い物ができます。



# 06

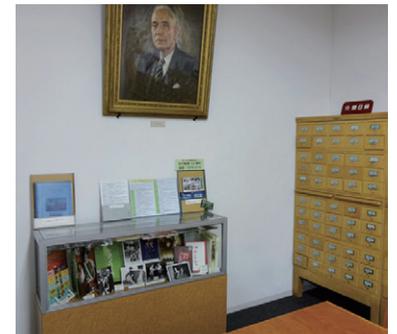
## 松竹大谷図書館

管理者: 公益財団法人松竹大谷図書館 (平成25年度認定)

- 📍 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F
- ☎ 03-5550-1694
- 🌐 <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
- 📅 月～金曜日(祝日・年末年始・毎月最終木曜日等を除く)
- 🕒 10:00～17:00
- 🚶 ① 東銀座駅5番出口 徒歩3分
- 🚶 ② 新富町駅1番出口 徒歩8分

### 演劇・映画の資料がなんと46万点以上!

松竹の創立者の1人、大谷竹次郎氏が文化勲章を受章したのを記念して、1958年に開館した演劇・映画専門の図書館です。松竹作品に限らず、演劇(歌舞伎・文楽・新派・新劇・商業演劇)、映画、日本舞踊、テレビドラマ、アニメなどの資料を無料で閲覧できます。書籍だけでなく台本や写真、プログラム、映画のプレスシートなどなど、レアな資料もいっぱい。目録カードやパソコンで検索して見たい資料を請求・閲覧する閉架式システムなので、蔵書を熟知した司書さんに相談しながらお目当ての資料を探してみましょう。



# 04



## 伊場仙浮世絵ミュージアム

管理者:株式会社伊場仙 (平成23年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋小舟町4-1
- ☎ 03-3664-9261
- 🌐 <http://www.ibasen.co.jp/gallery.html>
- 📅 年末年始を除く毎日
- 🕒 8:00~20:00(店舗は10:00~18:00/月~金曜日)
- 🚶 JR新日本橋駅5番出口 徒歩5分
- 🚶 三越前駅A6番出口 徒歩6分



### 団扇と扇子の老舗でアートを堪能

創業400年以上を誇る「伊場仙」は、当初は竹材や和紙を将軍家に納めていましたが、江戸後期に団扇を手掛けるように。さらに初代・歌川豊国、歌川国芳、歌川広重など人気絵師の版元となり、浮世絵入りの団扇で人気を博しました。そんな浮世絵コレクションや団扇絵から現代アートまで、月替わりで展示しているショーウィンドウが伊場仙浮世絵ミュージアムです。隣接する店内には、扇子、団扇、和風小物がずらり。お気に入りの品を選んで、現代の装いに取り入れるのも素敵です。



## Daiichi Sankyo くすりミュージアム

管理者:第一三共株式会社 (平成24年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋本町3-5-1
- ☎ 03-6225-1133
- 🌐 <https://kusuri-museum.com/>
- 📅 火~日曜日・祝日・振替休日(年末年始等を除く)
- 🕒 10:00~18:00
- 🚶 JR新日本橋駅5番出口 徒歩1分
- 🚶 三越前駅A10番出口 徒歩2分



### 親子でワクワク! 体験型ミュージアム

江戸時代から薬種問屋が集まって発展してきた日本橋本町で、「くすりともっと仲良くなれる」をコンセプトに開設された展示館。映像や光を駆使したゲームなどを体験しながら、くすりについて楽しく学べます。来場者は入口でICチップ入りのメダルを受け取り、年齢や性別などを登録します。各コーナーではこのメダルをコントローラに置くことで展示がスタート! 登録内容によって内容が変わることも。子供も遊び感覚で楽しめ、見学後はくすり博士になれるかも? 時間をかけてじっくり回るのがおすすめです。

## 小伝馬町牢屋敷展示館

管理者:小伝馬町一の部町会 (平成23年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア内
- ☎ 03-3546-5346
- (中央区区民部文化・生涯学習課内9:00~17:00)
- 📅 月~土曜日(祝日・年末年始等を除く)
- 🕒 9:00~18:00
- 🚶 小伝馬町駅4番出口 徒歩3分



### リアルな模型で牢屋敷の細部まで再現!

時代劇でおなじみの「伝馬町牢屋敷」跡地の十思スクエア入口に、精巧な牢屋敷の模型が展示されています。江戸幕府最大のこの牢は面積2,618坪。周囲に土手と堀を巡らせ、土堀に囲まれた獄舎は身分によって分けられていました。取り調べをする穿鑿所や拷問蔵のほか、敷地内には首斬場も…。模型をじっくり見学したら、別館の奥にある上水井戸と上水木樋の跡にも足を延ばして。実際の牢屋敷で使われていた設備を見ることができ、歴史の一片がリアルに感じられます。



## 小津史料館

管理者:株式会社小津商店 (平成23年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル
- ☎ 03-3662-1184
- 🌐 <http://www.ozuwashi.net/>
- 📅 月~土曜日(年末年始等を除く) 🕒 10:00~18:00
- 🚶 JR新日本橋駅5番出口 徒歩2分
- 🚶 小伝馬町駅3番出口 徒歩5分
- 🚶 三越前駅A6番出口 徒歩5分



### 紙商の老舗で紙漉き体験はいかが?

創業者・清左衛門長弘がこの地に小津和紙を開業して360余年。3階の小津史料館では、中央区登録有形文化財となっている所有の古文書約1,000点の中から多くの史料を公開しています。ほかにも本居宣長の肖像画や千両箱の実物、歌川広重の「東都大伝馬街繁栄之図」など目を引く展示品がいっぱい。館長・松浦節也さんの丁寧な説明を受けることもできます(要予約)。全国の和紙や和紙小物が揃う1階の店舗では体験工房で実際に和紙の手漉きができます(予約優先制)。2階の小津ギャラリーは自由に見学OK。





## 箱崎町箱四町会神輿庫

管理者:箱崎町箱四町会 (平成23年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋箱崎町26-1
- ☎ 03-3667-5667(平日 11:00~16:00)
- 📅 通年
- 🕒 8:00~21:00
- 🚶 水天宮前駅2番出口 徒歩2分



### 龍の眼には18金! 豪華な神輿は町会の誇り

東京シティアターミナルの近くにある「箱崎町箱四町会神輿庫」では、旧住所「日本橋箱崎四丁目」の名を残す「箱四」町会の神輿を通年で展示しています。モダンな展示館に収蔵されているのは昭和11年に製作された大小の神輿。名匠・浅子周慶の作で、塗り神輿が全盛の当時、櫓の総彫りは珍しい存在でした。見事な龍が屋根まで入り、大きな鳳凰がまるで天へ羽ばたくかのようです。戦災を逃れるために一時避難させたという戦前の神輿に、地元の人々の心意気が感じられます。

## 染物展示館・虎の檻

管理者:有限会社高虎商店 (平成26年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋浜町2-45-6
- ☎ 03-3666-5562
- 🌐 <http://www2.gol.com/users/ip0611031455/>
- 📅 月~土曜日(祝日・年末年始等を除く)
- 🕒 9:00~18:00(土曜日のみ17:00)
- 🚶 浜町駅A2番出口 徒歩1分



### 「高虎」の図案には江戸っ子の遊び心が

和装小物を扱う工房「濱町高虎」では、江戸っ子が愛してきた染物の貴重な資料を展示しています。店の中程にあるショーケースには、伝統的な染工法を伝える品が納められています。精緻な柄の型紙や染色道具、図案見本帳のほか、東京都文化指定品等もあり見応え十分! 高虎は、紺屋と呼ばれた染元のこうした技術を受け継ぎ、図案や型彫り、染色まで関わりながら、のれんや半纏、袋物などを店の階上で仕立てています。洒落の効いた図案の数々からは、江戸流の粋が感じられます。どんなシャレかは、ぜひ店内でご確認を!



## 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館

管理者:株式会社江戸屋 (平成25年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋大伝馬町2-16
- ☎ 03-3664-5671
- 🌐 <http://www.nihonbashi-edoya.co.jp/>
- 📅 月~金曜日(祝日・年末年始等を除く)
- 🕒 9:00~17:00
- 🚶 小伝馬町駅3番出口 徒歩5分  
JR新日本橋駅5番出口 徒歩10分



### 東京で最も古い刷毛・ブラシの専門店

1718年、将軍家から屋号を与えられた由緒ある刷毛専門店「江戸屋」では、天然素材を用いた手づくりの江戸刷毛を見ることが出来ます。現在、東京都指定の伝統工芸品になっている刷毛は、表具用、木版用、染色用、化粧用など7種類。江戸では将軍家お墨付きの刷毛として、職人から大奥の女性達まで広く人気を得ていたそう。現在ではブラシの製作も行い、なんと計約3,000種類もの商品を販売中! 匠の技で作られた刷毛やブラシは極上の使い心地。自分にぴったりな一品を探してみれば? 登録有形文化財の店舗にも注目を。

## ゆかた博物館

管理者:三勝株式会社 (平成23年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋人形町3-4-7
- ☎ 03-3661-8859
- 🌐 <http://www.sankatsu-zome.com/>
- 📅 月~金曜日(祝日・年末年始等を除く)
- 🕒 ①15:00~②16:00~(2部制・解説付)
- 🚶 人形町駅A5番出口 徒歩2分



※商品はゆかた博物館向「三勝」でお買い求めいただけます。

### ゆかたの本場で染めの美に酔いしれる

江戸時代から織問屋街として栄えてきた日本橋界隈、人形町駅近くにあるここは、創業120余年のゆかた製造卸「三勝」が公開している博物館です。同社は、化学染料による染色が流行した時代にも妥協せず、手作業による伝統の染色技法にこだわり続けてきました。その中心人物が、専属の染職人だった人間国宝の故・清水幸太郎さんです。展示館では彼の精巧無比な作品のほか、明治から平成までのゆかたの変遷等、貴重な資料が数多く展示されています(見学は事前予約制、解説付き)。





## 聚玉文庫ギャラリー

管理者:株式会社榛原 (平成26年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋2-7-1
- ☎ 03-3272-3801
- 🌐 <http://www.haibara.co.jp/>
- 🕒 通年(祝日・年末年始・盆休みを除く)
- 🕒 10:00~18:30(土日は17:30まで)
- 🚶 日本橋駅B6番出口 徒歩1分



(¥1,080以上~)



### 和紙の老舗・榛原には可愛い紙製品がいろいろ

聚玉文庫ギャラリーは1806年に創業した和紙舗「榛原」内にあります。肉筆画、摺り物、版木、千代紙、書籍、原稿など、同店が「聚玉文庫」と名付けて長年集積してきた歴史的な資料を公開しています。ギャラリーコーナーは店内右手奥のショーケースにあり、展示は毎月変わります。2015年に誕生した和モダンな建物の外観は、明治大正期の榛原千代紙の図案「色硝子」を表現したものです。店内には意匠を凝らした金封や便箋、和文具など、可愛い小物もたくさん。お気に入りの紙製品を探しましょう!

## 兜町・茅場町まちかど展示館

管理者:日本橋七の部連合町会 (平成25年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内
- ☎ 090-2465-4001(10:00~19:00)
- 🕒 通年
- 🕒 8:30~20:00
- 🚶 茅場町駅12番出口 徒歩2分



### 兜を載せた山車ほか地元の文化財がズラリ!

日本の金融の中心地として活気漲るまち、日本橋兜町。そんな兜町にあって、この展示館がある坂本町公園は緑豊かで、地域のビジネスマンや住人の憩いの場となっています。ガラス張りの立派な展示庫には、地元の神輿4基と山車1基、また江戸町火消し「百組」伝統の写真や革半纏などが展示されていて、中でも注目は兜町の山車。町名に合わせて、大太鼓の上には鳳凰の代わりに立派な兜が飾られた、ちょっと他に見えないものです。祭と縁の深い町火消しにまつわる粋な品々も見逃せません。



## 江戸表具展示館

管理者:経新堂稲崎 (平成26年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋浜町2-48-7
- ☎ 03-3666-6494
- 🌐 <http://www.kyoushindo.com/>
- 🕒 月~土曜日(祝日・年末年始等を除く)
- 🕒 9:00~18:00
- 🚶 浜町駅A2番出口 徒歩1分



### 「大経師」の展示に江戸表具の粋を見る

日本橋浜町にある表具店「経新堂稲崎」による江戸表具の展示コーナーです。天保年間に創業した老舗の店頭には「大経師」の看板が。経師とは表具師のこと、大経師とはかつて朝廷に仕え、江戸時代に名字帯刀や江戸城への出入りも許された筆頭格のことで、現在大経師と名乗っているのはここだけ。浮世絵文化の中で発達した江戸表具は粋が求められたといい、その高い技術は今も同店が守り続けています。あまり見る機会のない表具作品を、ぜひこの機会に鑑賞してみてください。

## 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー

管理者:三菱倉庫株式会社 (平成26年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋1-19-1 ☎ 03-3278-6611
- 🕒 月~土曜日(祝日・年末年始等を除く)
- 🕒 平日/7:30~19:30 土曜/7:30~13:30
- 🚶 A 日本橋駅D2番出口 徒歩3分
- 🚶 B 日本橋駅D4番出口 徒歩4分
- 🚶 C 三越前駅B6番出口 徒歩5分
- 🚶 JR東京駅八重洲中央口から徒歩15分

### 水運のまちを支えた建造物に歴史を感じて

中央区は江戸以来、河川による物資の重要な集積地でした。江戸橋の畔にあるこの展示館では、1876年、郵便汽船三菱会社の荷捌所がここに開設されて以来の建造物や街の変遷を詳しく紹介しています。レンガ造りの「七つ蔵」、約80年にわたり日本橋川の景観となった「江戸橋倉庫ビル」、そしてその美しい外観を保存した「日本橋ダイビルディング」へ…。精巧な模型や写真等の豊富な資料で移り変わる様子がよく分かります。まち歩きにはぜひ立ち寄りたい場所です。





## 勝どき・豊海歴史資料展示館

管理者:勝どき・豊海連合町会 (平成25年度認定)

- 📍 東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内
- ☎ 03-3531-0092(11:00~16:00)  
090-3529-3712(11:00~16:00)
- 📅 毎月 第2土・日曜日
- 🕒 10:00~16:00
- 🚶 勝どき駅A4番出口 徒歩1分



### 食イベントの日は地域の伝統も鑑賞したい

この展示館のある月島第二児童公園では、毎月第2土・日曜日に全国から新鮮な野菜や軽食が集まる「太陽のマルシェ」が開催されており、展示館はそのイベントに合わせて公開されています。収蔵品は、二号地大神輿、中神輿、小神輿、そして山車と纏です。第14代浅子周慶作の大神輿は、鳳凰を戴く屋根や本体に巡らされた細密な飾り網がとても豪華。六と描かれた纏は「第一区六番組」のもので、江戸っ子の火消し文化のひとつとしてこの町に受け継がれてきた貴重な品です。(毎月第2土・日曜日公開)

# 21

## 佃まちかど展示館

管理者:佃一丁目町会 (平成23年度認定)

- 📍 東京都中央区佃1-2-10先
- ☎ 03-3546-5346  
(中央区区民部文化・生涯学習課内9:00~17:00)
- 📅 通年
- 🕒 常時開館
- 🚶 月島駅6番出口 徒歩5分



### 怪我人が続出したという千貫神輿は必見!

江戸情緒を残すレトロな町として人気の佃で、地域の文化財を通年で展示。圧倒されるほど大きな千貫神輿は、終戦後に千葉の寒川神社の宮神輿として作られたものですが、あまりの重さに200人の怪我人を出したというエピソードが。その後、人形町末廣神社を経て佃へ来た時には、あまりに長い担ぎ棒を佃の道の幅に合わせて短く切ったと言われています。また、文政年間(1818~1830年)の作と言われる獅子頭「龍虎」「黒駒」のほか、240年前の複製古地図、佃例祭や盆踊りの写真なども展示しています。

# 19

## ふるさと晴海資料展示館

管理者:晴海連合町会 (平成24年度認定)

- 📍 東京都中央区晴海2-4 晴海臨海公園内
- ☎ 080-7723-3158(11:00~16:00)
- 📅 通年
- 🕒 常時開館
- 🚶 勝どき駅A2a番出口 徒歩10分



### 住民念願の神輿は晴海の新しいシンボル

晴海臨海公園の入り口にあるガラス張りの展示館では、町会の神輿3点セット(大人神輿・子供神輿・山車)を通年で展示。以前晴海には自前の神輿がなく、住吉神社の大祭にはレンタル神輿で参加していましたが、2011年、40年来の住民の念願が成就し、浅草の神輿師・宮本重義氏によってこの神輿が完成しました。大人神輿は彫金、彫刻、螺鈿など江戸神輿の伝統が随所に施され、青色で晴海のイメージが表現された美しいものです。神輿のほかに晴海の歴史パネルやイベントの写真も公開しています。



# 22

## 石川島資料館

管理者:株式会社IHI (平成24年度認定)

- 📍 東京都中央区佃1-11-8 ピアウエストスクエア1F
- ☎ 03-5548-2571
- 🌐 <http://www.ihico.jp/shiryoukan/>
- 📅 水・土曜日(年末年始等を除く)
- 🕒 10:00~12:00、13:00~17:00(入館は16:30まで)
- 🚶 月島駅6番出口 徒歩6分

### 日本の造船業と石川島の歴史をじっくりと

かつて石川島だったこの場所は、日本における近代的造船業の発祥の地。ここに水戸藩徳川斉昭の手によって創設された石川島造船所は、現在のIHI(旧社名:石川島播磨重工業)の母体となりました。『石川島からIHIへ〜石川島資料館〜』では、造船所の創業から現代までを、石川島・佃島の歴史や文化とともに、豊富な資料やジオラマ模型などで詳しく紹介。5つのテーマで見やすく展示され、IHIの歴史を知るとともに、日本の重工業史そのものが理解できます。(開館日は水・土曜日のみ)



# 20

 中央区まちかど展示館  
オリジナルスタンプシート

全22種類! 見どころ満載の中央区を歩きながらまちかど展示館のオリジナルスタンプを集めてみませんか?

★印の6館は展示館にはスタンプが設置されておりません。詳しくは22ページをご覧ください。

■…銀座・京橋地区 ■…日本橋地区 ■…月島地区 [4・5ページ展示館MAP参照](#)

01

江戸ほうき展示館

開館日/月~土曜日  
(祝日・年末年始等を除く)  
開館時間/10:00~19:00

02

足袋の博物館

開館日/月~金曜日  
(祝日・年末年始等を除く)  
開館時間/9:00~17:00

03

ミズノプリンティング  
ミュージアム

開館日/月~金曜日  
(祝日・年末年始等を除く)  
開館時間/10:00~16:00

04

松竹大谷図書館

開館日/月~金曜日  
(祝日・年末年始・毎月最終木曜日等を除く)  
開館時間/10:00~17:00

05

のれん・提灯・下絵の  
展示館

開館日/月~土曜日  
(祝日・年末年始・市場休業日等を除く)  
開館時間/7:30~17:30

06

楊枝資料館

開館日/月~土曜日  
(祝日を除く)  
開館時間/10:00~18:00

07

Daiichi Sankyo  
くすりミュージアム

開館日/火~日曜日・祝日・振替休日  
(年末年始等を除く)  
開館時間/10:00~18:00

08

小津史料館

開館日/月~土曜日  
(年末年始等を除く)  
開館時間/10:00~18:00

09

伊場仙浮世絵  
ミュージアム

開館日/年末年始を除く毎日  
(日曜、祝日、年末年始を除く)  
開館時間/8:00~20:00

10

小伝馬町牢屋敷  
展示館

開館日/月~土曜日  
(祝日・年末年始等を除く)  
営業時間/9:00~18:00

11

江戸屋所蔵  
刷毛ブラシ展示館

開館日/月~金曜日  
(祝日・年末年始等を除く)  
営業時間/9:00~17:00

12

ゆかた博物館

開館日/月~金曜日  
(祝日・年末年始等を除く)  
営業時間/①15:00~②16:00~  
(2部制・解説付)

★13

箱崎町箱四町会  
神輿庫

開館日/通年  
営業時間/8:00~21:00

14

染物展示館・虎の檻

開館日/月~土曜日  
(祝日・年末年始等を除く)  
営業時間/9:00~18:00  
(土曜日のみ17:00)

15

江戸表具展示館

開館日/月~土曜日  
(祝日・年末年始等を除く)  
営業時間/9:00~18:00

★16

三菱倉庫・江戸橋  
歴史展示ギャラリー

開館日/月~土曜日(祝日・年末年始等を除く)  
開館時間/平日/7:30~19:30  
土曜/7:30~13:30

17

聚玉文庫ギャラリー

開館日/通年  
(祝日・年末年始・盆休みを除く)  
営業時間/10:00~18:30  
(土日は17:30まで)

★18

兜町・茅場町  
まちかど展示館

開館日/通年  
営業時間/8:30~20:00

★19

佃まちかど展示館

開館日/通年  
営業時間/常時開館

20

石川島資料館

開館日/水・土曜日  
(年末年始等を除く)  
営業時間/10:00~12:00, 13:00~17:00  
(入館は16:30まで)

★21

勝どき・豊海  
歴史資料展示館

開館日/毎月 第2土・日曜日  
営業時間/10:00~16:00

★22

ふるさと晴海  
資料展示館

開館日/通年  
営業時間/常時開館

# 中央区まちかど展示館

## オリジナルスタンプを集めよう!!

まちかど展示館22館のオリジナルスタンプが完成しました。20・21ページにはスタンプシートをお付けしました。中央区内を散歩しながら各展示館のスタンプを集めてみましょう。22館それぞれ異なるデザインです。ぜひコンプリートを目指してみてください。スタンプを集めながら、もっともっと中央区の魅力を知ってもらえたらうれしいです。

※スタンプラリーシートは、ホームページ <http://chuoku-machikadotenjikan.jp/stamp.html> からダウンロードできます。

■設置箇所…中央区まちかど展示館22カ所 ※各まちかど展示館の場所は4・5ページの地図をご覧ください。

※下記の6館については、展示館にはスタンプが設置されておりません。

- ⑬箱崎町箱四町会神輿庫 ⑭三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー ⑮兜町・茅場町まちかど展示館  
⑯佃まちかど展示館 ⑰勝どき・豊海歴史資料展示館 ⑱ふるさと晴海資料展示館

上記6館を訪れた方は、以下の窓口で訪れた展示館の写真をお見せください。スタンプを押印します。  
中央区まちかど展示館運営協議会(中央区築地1-1-1 中央区役所6階 中央区文化・生涯学習課内)

## スタンプコンプリート特典

中央区まちかど展示館22館のスタンプを全部集めた方、先着20名様に、  
各展示館より素敵なプレゼントを差し上げます!

■応募方法…以下いずれかの方法でご応募ください。(応募が20名に達し次第終了となります)

- 1) 全てのスタンプが写った写真をメールに添付し、件名:まちかど展示館スタンプラリー応募 としてメール本文にご住所、お名前、連絡先を記載しうえてご送付ください。◎応募先メールアドレス [b-syogai\\_01-mk@city.chuo.lg.jp](mailto:b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp)
- 2) 中央区役所6階 文化・生涯学習課に直接押印済みのラリーシートをお持ちください。



※なお、プレゼント商品はおまかせとなります。お選びいただくことはできませんのでご了承ください。

■facebook公式ページ…中央区まちかど展示館



◎スタンプを押したまちかど展示館の写真を一緒に送っていただくと「まちかど展示館facebook」をご紹介します!  
@chuoku.machikadotenjikan ぜひご意見・ご感想もお聞かせください!

■まちかど展示館スタンプに関するお問い合わせ

中央区まちかど展示館運営協議会 中央区築地1-1-1 中央区役所6階 TEL.03-3546-5346(中央区文化・生涯学習課内)

アンケートにお答えいただいた方から

## 抽選で毎月5名様に まちかど展示館オリジナルグッズをプレゼント!

本誌のアンケートはがきでアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で毎月5名様に、素敵なプレゼントを差し上げます。どうぞお気軽に本誌へのご意見やご感想をお寄せください。

### ■応募締切とプレゼントの発送

平成30年3月までの毎月末日(当日消印有効)

当選者様へは、翌月10日前後にプレゼントを発送します。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※アンケートにご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送やご記入者様への諸連絡、また個人が特定できない統計資料の作成に利用させていただきます。個人情報は厳重に管理し、第三者への提供・開示はいたしません。

### ■アンケートに関するお問い合わせ

中央区まちかど展示館運営協議会(中央区文化・生涯学習課内) TEL.03-3546-5346

キリトリ ✂

✂ キリトリ

1. 本季刊誌をどこでお知りになりましたか?  
またはどこでお手に取りましたか?

※複数回答可

1. まちかど展示館

2. まちかど展示館HP・Facebook

3. まるごとミュージアム会場

4. 区施設 5. 区内飲食店、商業施設等

6. その他( )

2. 本季刊誌のVol.1とVol.2をどこで知りましたか?

1. はい

3. 記載の「まちかど展示館」を訪れたことはありませんか?

1. はい

3. 訪れた展示館名を教えてください。

4. 今後、取り上げて欲しいアンケート内容はありますか?

5. 本季刊誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。

こちらのアンケートはがきは、  
ダウンロード版ではご利用いただけません。